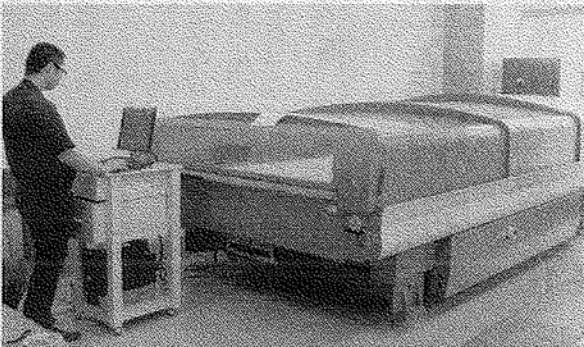


神戸にモノづくり工房

コムネットが9月開設

3Dプリンターなど設備充実

【神戸】コムネット(神戸市中央区、五十嵐晃治社長、078・304・7760)は、同社が入居する神戸国際ビジネスセンター内に会員制モノづくり工房「Maker's(メイカーズ)」を9月2日にオープンする。新しいモノづくりの担い手「メイカーズ」が注目される中、レーザー加工機や3次元(3D)プリンターなど充実した生産設備を導入し、手軽にモノづくりができる環境を提供する。



メイカーズ内に設置予定の大型レーザー加工機

業スペースや、梱包作業スペースも設ける。生産設備はレーザー加工機12台、3Dプリンター、CNC(コンピュータ数値制御)ルーター、紫外線(UV)インクジェットプリンター、デジタルカメラなどもそろえる。

レーザー加工機は出力12〜400ワットの機械をそろえ、1500mm×3000mmのワークを加工

てもらい、ライセンス取得者が機械を使用できる。

投資額は約2000万円。オープン後3年をめどに300人の会員獲得を目指す。会費は機械を1日2時間・月24時間使

えるスタンダード会員で、月額1万3650円の予定。法人や学生価格も設定する。メイカーズの広さは約

400平方メートル。一部はパソコンでCADやグラフィックソフトウェアを使い設計作業ができる部屋にする。工房には30の作

業スペースや、梱包作業スペースも設ける。生産設備はレーザー加工機12台、3Dプリンター、CNC(コンピュータ数値制御)ルーター、紫外線(UV)インクジェットプリンター、デジタルカメラなどもそろえる。

五十嵐社長は「ベンチャー企業が育つような場を提供できれば」と意気込みを示している。コムネットはレーザー加工機販売で、累計2000台以上の販売実績を持つ。